

⑫ Int. Cl.<sup>3</sup>  
F 16 J 15/32

識別記号

庁内整理番号  
6738—3 J

⑬ 公開 昭和56年(1981)10月31日

審査請求 有

(全 2 頁)

⑭ 回転軸の摺擦シール

三島市先ヶ丘26の4

⑮ 実 願 昭55—43001

⑯ 出 願 人 日井国際産業株式会社

⑰ 出 願 昭55(1980)3月31日

静岡県駿東郡清水町長沢一三一  
ノ二

⑱ 考 案 者 今橋満男

⑲ 代 理 人 弁理士 押田良久

⑳ 実用新案登録請求の範囲

(1) 中央部に回転軸 9 への挿着係合孔 2 を有し、且つ該挿着係合孔周辺表面の内周に沿って渦巻状の筋状切れ目 3 を有してなる一対の可撓性シール部材 1, 1' を、該筋状切れ目側の面を対向させた状態でその外周壁部 4, 4' を両側が開放したケース 5 に固定支持させるとともに、該筋状切れ目を有する係合孔周辺を相互に外方に彎曲させることにより、回転軸への挿着時に該渦巻状の筋切れ目 3, 3' によって形成される鋸歯部または鱗部 8, 8' がそれぞれ逆向きに回転軸表面と摺擦係合するように構成してなることを特徴とする回転軸の摺擦シール。

(2) 実用新案登録請求の範囲第 1 項の回転軸摺擦シールにおいても、一対のシール部材 1, 1' の外周壁部 4, 4' を固定支持するケース 5 を、両側に係止壁 6, 6' を有し内周壁側に突出壁 5a' を有するアウターケース部材 5a と、該係止壁 5a' と突出壁 6 または 6' 間に嵌着する一対のインナーケース部材 5b, 5b' で構成し、前記アウターケース部材の突出壁 5a' の両側に相対して当接した一対のシール部材

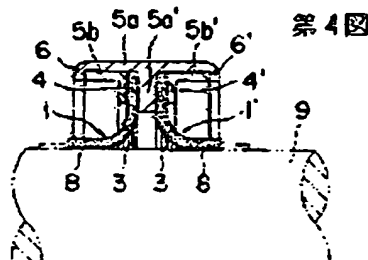
の外周壁部 4, 4' を介してインナーケース部材をアウターケース部材に嵌着重合することによりシール部材を狭圧固定してなることを特徴とする回転軸の摺擦シール。

(3) 実用新案登録請求の範囲第 1 項の回転軸摺擦シールにおいて、一個のシール部材 1 の外周壁部 4 を固定支持した同型の一対のシール部材 7, 7' を嵌合せに結合してなることを特徴とする回転軸の摺擦シール。

図面の簡単な説明

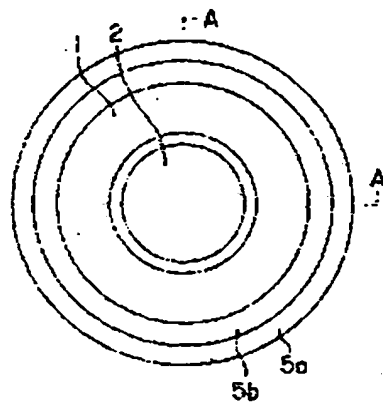
図は本考案に係る摺擦シール構造の実施例を示すもので、第 1 図は正面図、第 2 図は第 1 図の A-A 線断面を含む側面図、第 3 図は他の実施態様による第 2 図相当図、第 4 図は第 1 図、第 2 図の摺擦シールを回転軸に挿着した使用状態の断面図である。

1, 1' ……シール部材、2, 2' ……回転軸への挿着係合孔、3, 3' ……渦巻状の筋状切れ目、4, 4' ……シール部材の外周壁部、5a ……アウターケース部材、5b, 5b' ……インナーケース部材、9 ……回転軸。

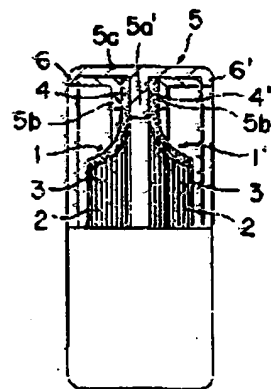


第 4 図

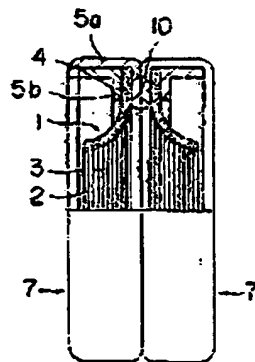
图 1-25



第2圖



### 第3図



**BEST AVAILABLE COPY**